

令和7年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立東城中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「 パワフルタイム 」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
授業の中で発声することはできるが、文化祭や庄原市中学校合唱コンクールなど、大勢の前で周囲を気にせず発声することは難しい。また、生徒の表現力も低いため、全校で音楽活動を継続して行うことで、学年を超えた心の繋がりを増やし、表現力や団結力を高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現を通して感性を高め、豊かな心を育む生徒 ・積極的に表現をする意欲を向上させ、歌唱表現の技能を高めようとする生徒 ・全校生徒で歌う楽しさや一体感を味わい、団結力を高めようとする生徒



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<p>学年や学級を超え、学校全体が「一つのチーム」であるという意識や学校全体の士気を高め、達成感を共有する。</p> <p>生徒主導の実践上の視点を活かした運営により、生徒の自治能力を高める。</p>	
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等	
<p><取組の進め方></p> <p>4月末から月1回（火曜日・体育館）の全校合唱を行い、状況を見ながら各学級でも合唱する機会を設けていく。</p> <p>1学期後半頃からは、パートリーダーを募り、生徒主体の組織的な歌声づくりを行う。</p> <p>2学期からは文化祭に向けて回数を増やし、3学期は、卒業証書授与式に向けて取り組む。</p>	
<p><取組の工夫></p> <p>お互いが協力したり、認め合ったりすることで、絆を深めたり、生徒一人一人が一体感を共有することで、生徒同士が認め合える心を育てていくことを大事にする。</p> <p>リズムアンサンブル等を導入することにより、全校生徒で合唱に向かう雰囲気づくりを行う。</p>	
<p><生徒の変容></p> <p>3年生に最高学年としてのリーダー性が育ち、始めた頃は教師主導で行っていたパワフルタイムも、3年生のパートリーダー主導で行うことができるようになった。</p> <p>全校の音量が見違えるほど大きくなり、下を向いて歌っていた生徒の顔が上がるようになった。</p>	
	

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）
<p>○歌の表現力が上がった。</p> <p>○生徒が「声」を出す習慣が身に付いた。</p> <p>○練習の成果を文化祭で発表することにより、保護者に感動を与えられる合唱となり、達成感を味わうことができた。</p> <p>●パートリーダーとの打ち合わせがうまくできず、当日慌てる様子があった。パートリーダーが欠席した場合を考慮した丁寧な打ち合わせが必要である。</p> <p>●全校生徒となると大勢になるため、陰に隠れて積極的に取り組めていない生徒がいた。配置に工夫が必要である。</p> <p>●3年生がリーダーシップを発揮し、1・2年生の良さをより一層引き出すために、事前に3年生には目的を周知し、主体的に動くことができるように指導しておく必要がある。</p>